

Ⅲ. 專 門 分 野

[地域・在宅看護論]

必修科目(12)

科目	地域と暮らしを知る 演習 I	単位	1	時間 数	15	開 講 期	1年 前期	担 当 者	看護師:松永 貴子
講 義 の 概 要 お よ び 学 習 目 標	<p>地域・在宅看護論では、地域で暮らす人々とその家族を理解し、地域におけるさまざまな場で、人々の健康と暮らしを支えるための看護を学ぶ。そのためには、健康を支援するための生活の基盤である「地域」や「暮らし」を理解する必要がある。静岡市の高齢化率は全国をみても高い水準にある。そこで、「生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業」の一環として駿河共生地区をモデル地域として整備を図り地域で暮らし続けることを支援する事業を始めた。本校は、この地区に位置している。そのため、学校周辺を学生達がフィールドワークすることで、地域特性を理解し、そこに住む人々とのかかわりを通して、暮らしについて理解を深めていく。そこから、「地域」と「暮らし」、「健康」のつながりについて考える。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 フィールドワークを通して、地域特性と人々の暮らしを知る 2 地域と暮らし、健康はどのようにかかわっているのか考える 								
講 義 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域・在宅看護論とは なぜ、地域と暮らしを知るのか 2 フィールドワーク①② 駿河共生地区及び駿河区の探検 3 グループワーク 4 学びの共有 テーマ「地域と暮らし、健康はどのようにかかわっているのか？」 <p><夏季休暇の課題> テーマ「わたしの暮らす地域を紹介します」</p> <p><最終レポート> テーマ「地域の健康な暮らしを支えるために自分が取り組むこと」</p>								
評 価 法	出席状況、演習への取り組み、レポート課題を総合して評価します								
受 講 生 へ の 要 望	<p>今まで生きてきた環境や出会ってきた人の中で形成された自分の価値観にとらわれず多様な暮らしや価値観に触れていきましょう。地域で暮らす人々と積極的にかかわってください。そこで感じ考えたことを大事にして表現していきましょう。</p> <p>フィールドワークは、学生主体の活動です。グループの中で、自分の力を発揮できるように取り組んでください。</p>								
テ キ ス ト	書名／著者名／発行所 1) 系統看護学講座 専門分野 「地域・在宅看護の基盤」／河原加代子 他／医学書院 2) 系統看護学講座 専門分野 「地域・在宅看護の実践」／河原加代子 他／医学書院								
参 考 文 献	書名／著者名／発行所 1) 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア／ナーシング・グラフィカ 2) 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術／ナーシンググラフィカ								

必修科目(13)

科目	地域と暮らしを知る 演習Ⅱ	単位	1	時間数	20	開講期	1年 後期	担当者	看護師:倉持有希子 看護師:松永貴子
----	------------------	----	---	-----	----	-----	----------	-----	-----------------------

講義の概要および学習目標	<p>現在の日本では、少子・高齢化の進展に伴い、地域で最期までその人らしく生きていくことを支えていく地域包括ケアシステムが構築されている。そのシステムを推進するためには、看護の力が大きく期待されている。</p> <p>本科目では、静岡市の地域特性をとらえながら地域包括ケアシステムの構成要素である自助・互助・共助・公助の実際を学ぶ。また、自然災害が予測される静岡の防災や健康づくりのための保健福祉センターでの活動についても学んでいく。演習では、静岡市のあらゆる場でフィールドワークを行う。そこから、どのように人々の健康な暮らし、望む暮らしが支えられているのか知り、地域包括ケアシステムにおける看護の役割を明らかにしていく。</p> <p>人々が、住み慣れた地域で望む暮らしを続けていくためには、多様な人々の切れ目のない支援が必要となる。そのため、多職種と連携・協働するための基礎的能力を養うために、理学療法学科の学生と出会い、連携ワークを行うことでお互いの職種を理解していく。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 フィールドワークすることから、地域包括ケアシステムにおける看護の役割について考える 2 人々が健康で、かつ望む暮らしをすることを支える多職種連携について考える
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 演習のオリエンテーション、地域包括ケアシステム(自助・互助・共助・公助) 2 静岡型地域包括ケアシステムの理解・地域包括支援センターの役割(出前講座) 3 静岡市の地域防災(出前講座) 4 静岡市の保健福祉活動 5・6 フィールドワーク(静岡市の施設や活動の場を訪問し見学や活動に参加する) 7 グループワーク 8・9 報告会 テーマ:「地域包括ケアシステムにおける看護師の役割」 10 多職種連携ワークⅠ
評価法	出席状況、演習への取り組み、フィールドワークの成果、レポートを総合して評価します
受講生への要望	<p>フィールドワークで感じたことや学んだことを、制度やシステムとも結びつけて理解をしていきましょう。また、発達段階や地域特性などの視点で、その人の健康や望む暮らしを支えていることについて考えていきましょう。皆さんも、地域の一員です。地域の暮らしや支援の実際に興味関心をもって学んでいきましょう。</p> <p>フィールドワークや多職種連携ワークではさまざまな人々とかわります。看護学生として望ましい姿勢・態度で臨んでください。報告会やワークには積極的に参加していきましょう。</p>
テキスト	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 系統看護学講座 専門分野「地域・在宅看護の基盤」／河原加代子 他／医学書院 2) 系統看護学講座 専門分野「地域・在宅看護の実践」／河原加代子 他／医学書院
参考文献	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア／臺有桂他／ナーシング・グラフィカ 2) 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術／ナーシンググラフィカ 3) 写真でわかる訪問看護／押川眞喜子／メディカ出版

必修科目(14)

科目	家族の理解と看護	単位	1	時間数	15	開講期	2年前期	担当者	看護師:倉持有希子 家族支援専門看護師 助産師 重症児・者通所支援施設職員
講義の概要および学習目標	<p>家族のあり方は、時代や文化によって変化し多様性がある。現代では、核家族化や高齢者のみの世帯、一人世帯などが増加し、家族のかたちも、複雑かつ多様性を増している。人のもつ家族へのイメージは、自らが生きてきた家族の背景から作られる。そのため、様々な家族に出会う看護の場では、自分の中にある家族のイメージにとらわれることなく、柔軟な思考や広い視点にたつて家族を捉えていくことが求められる。</p> <p>家族成員の健康障害は、家族全体に影響を及ぼす。そのため、家族本来のもつ力に注目し、家族全体の機能が発揮されることで健康を維持していくための看護を学んでいく。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 多様な家族のあり方を知ることから、看護の対象となる家族を理解する 2 家族のもてる力が発揮され、家族全体が健康を維持していくための看護を考える 								
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 家族を看護するとは 2 家族看護の実際 <ol style="list-style-type: none"> 1)子育ての家族看護 2)障がい児(者)の家族看護 3)若者の家族看護 4)成人の家族看護 5)高齢者の家族看護 3 演習 テーマ「家族全体が健康を維持していくための看護」 								
評価法	授業への参加態度、出席状況、授業前後のレポート、演習の成果を総合して評価します								
受講生への要望	<p>自己のもつ家族のイメージは、みなさんが生きてきた家族との関係からつくられています。関連する科目の学習や自己学習により、多様な家族のあり方や価値観を学び、自己の家族観を深めながら家族への看護を考えてください。家族のあり方は、多種多様です。個の家族観は、個人の体験に影響されます。お互いを尊重し、プライバシーを守り、倫理観をもって学んでください。</p>								
テキスト	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)系統看護学講座 別巻「家族看護学」／上別府圭子 他／医学書院 2)系統看護学講座 専門分野「地域・在宅看護の基盤」／河原加代子 他／医学書院 3)系統看護学講座 専門分野「地域・在宅看護の実践」／河原加代子 他／医学書院 								
参考文献	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)家族看護学 理論と実践 第5版／日本看護協会出版会 2)家族看護学臨床場面と事例から考える／第3版／南江堂 								

必修科目(15)

科目	地域・在宅看護 の展開Ⅰ	単位	1	時間 数	30	開 講 期	2年 後期	担 当 者	看護師:倉持有希子 看護師:松永しのぶ 入退院支援看護師
----	-----------------	----	---	---------	----	-------------	----------	-------------	------------------------------------

講義 の概 要お よび 学 習 目 標	<p>地域包括ケアシステムをますます推進していくためには、地域・在宅看護の力が大きく期待されている。特に在宅看護では、在宅で療養生活をおくる人々とその人々を支えている家族に対して、QOLを維持・向上させることを目的とした看護活動が行われる。ゆえに、対象の多様な価値観や信条、今までの生活のあり方など丸ごと尊重したかかわりが必要となる。</p> <p>この科目は、訪問看護に焦点をあて、看護過程の特徴と在宅生活を尊重した日常生活援助技術を習得していく。また、病院と地域・在宅をつなぐ入退院支援の実際についても学ぶ。さらに、切れ目のない支援を行うための多職種連携・協働についても多職種の学生と共にワークすることで理解を深めていく。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 在宅療養生活を支える訪問看護を理解する 2 地域・在宅看護にかかわる制度～介護保険～とその活用を理解する 3 地域・在宅看護の看護過程の特徴を理解する 4 暮らしを支える生活援助技術を習得する 5 多職種と連携・協働するために必要なことを考える
講義 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域・在宅療養生活を支える訪問看護・介護保険の活用 2 地域・在宅看護の対象理解・看護過程の特徴 3 演習:暮らしを支える日常生活援助技術 排泄・与薬・清潔援助 4 退院支援・退院調整の実際 5 3年次生「地域・在宅看護の探究発表会」参加 6 多職種連携ワークⅡ
評 価 法	出席状況、授業への取り組み、演習の成果、筆記試験を総合して評価する
受 講 生 へ の 要 望	<p>訪問看護は、対象の生活する場で行われる。そのため、日々療養者や家族が生活しているという意識をもってイメージしながら学んでほしい。また、日常生活援助技術は既習の知識を活用し、在宅での生活を考えながら具体的な方法について習得してほしい。</p> <p>3年次生の「地域・在宅看護の探究発表会」に参加することで、地域・在宅看護にとって必要な視点についての学びを深めてほしい。</p>
テ キ ス ト	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 系統看護学講座 専門分野 「地域・在宅看護の基盤」／河原加代子 他／医学書院 2) 系統看護学講座 専門分野 「地域・在宅看護の実践」／河原加代子 他／医学書院
参 考 文 献	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア／ナーシング・グラフィカ 2) 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術／ナーシンググラフィカ 3) 写真でわかる訪問看護／メディカ出版

必修科目(16)

科目	地域・在宅看護 の展開Ⅱ	単位	2	時間 数	40	開 講 期	3年 前期	担 当 者	看護師:松永しのぶ 訪問看護師 在宅医 臨床看護師
講義 の概 要お よび 学習 目標	<p>地域・在宅での療養生活を支えていくために、さまざまなサービスの活用や多職種 の協働がなされている。その中で、看護は、医療的ケアや処置を必要とする人 や人生の最終段階にある人へのケア、家族への支援、チームのコーディネーター としての役割など専門性を発揮している。</p> <p>この科目では、「地域・在宅看護の展開Ⅰ」での学びをもとに訪問看護に焦点を あて、さらに看護の専門性を発揮できるよう看護を学んでいく。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療的ケアや処置を必要とする療養者と家族の看護を理解する 2 人生の最終段階にある人と家族への看護を考える 3 ケアマネジメントの実際を知る 4 多職種とケースを検討することで専門職の連携について考える 								
講義 内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療的ケアや処置を必要とする対象の理解 2 演習:在宅で療養している難病の療養者と家族を支える看護 3 医療管理・医療処置を必要とする療養者と家族への看護の実際 4 在宅で人生の最終段階を迎える療養者と家族の看護 5 看護の継続性<外来看護> 6 地域医療の実際 7 ケアマネジメントの実際 8 多職種連携ワークⅢ<ケースカンファレンス> 								
評 価 法	出席状況、授業への取り組み、演習の成果、筆記試験を総合して評価する								
受 講 生 へ の 要 望	<p>本講義は、「地域・在宅看護論実習Ⅱ」の前に展開する。そのため、臨地実習で 活用できるよう演習を行ったり、特定行為を行っている訪問看護師などの実際に 触れる。そのため、訪問看護を行っている自分をイメージしながら望んでほしい。</p> <p>多職種連携ワークⅢは、他職種の学生とケースカンファレンスを行う。最後の ワークになるため、相手へのリスペクトをもって、より主体的な参加を期待する。</p>								
テ キ ス ト	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)系統的看護学講座 専門分野「地域・在宅看護の基盤」／河原加代子 他／医学書院 2)系統的看護学講座 専門分野「地域・在宅看護の実際」／河原加代子 他／医学書院 								
参 考 文 献	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア／ナーシング・グラフィカ 2)地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術／ナーシンググラフィカ 3)写真でわかる訪問看護／メディカ出版 								

必修科目(17)

科目	地域・在宅看護の探究	単位	1	時間数	15	開講期	3年後期	担当者	看護師:倉持有希子 看護師:松永貴子
----	------------	----	---	-----	----	-----	------	-----	-----------------------

講義の概要および学習目標	<p>地域・在宅看護は、その人や家族が住み慣れた地域や在宅で、健康で、望む暮らしを支えることを目的とする。その対象の発達段階や健康の段階は様々で、時には、人生の最終段階を迎えている人もいる。地域・在宅で多様な人々を支えていくためには、様々な社会的問題や個別の課題と向き合うことが必要となる。</p> <p>この科目では、学生自身が関心をもって探究したい問題や課題をテーマにあげ、これまでの学びや自己学習、グループ学習を活かして、その看護を明らかにしていく。</p> <p>《学習目標》 地域・在宅療養生活を継続していくための問題や課題をに焦点をあて、その看護を明らかにする</p>
講義内容	<p><事前> 「地域・在宅看護論実習Ⅱ」に向けて、地域・在宅看護で探究したいテーマを設定する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 探求したいテーマの明確化 2 個人ワーク <作品①> 3 グループで共有 4 個人ワーク <作品②> 5 グループで共有 6 学びの発表会 *2年次生参加「地域・在宅看護の展開Ⅰ」
評価法	個人ワーク・共有会・発表会への参加態度、成果物を総合して評価します。
受講生への要望	この科目は、地域・在宅看護論の最終科目です。1年次の演習、2・3年次の看護展開の授業、臨地実習の体験を想起しながら、目的意識をもって取り組んでください。看護を探究していくために、自己の体験だけではなく、仲間の体験や文献なども大いに活用し、広い視野でまとめていきましょう。
テキスト	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)系統的看護学講座 専門分野 「地域・在宅看護の基盤」／河原加代子 他／医学書院 2)系統的看護学講座 専門分野 「地域・在宅看護の実践」／河原加代子 他／医学書院
参考文献	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)系統的看護学講座 別巻 「家族看護学」／上別府圭子 他／医学書院 2)系統的看護学講座 専門基礎分野 「社会保障・社会福祉」／福田素生 他／医学書院